

指定校番号	31035	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立本郷中学校	校長	大畑 文信	生徒指導主事	大西 康晃
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒会を中心としたボランティア活動の充実』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		人間関係形成	
コミュニケーション能力	3	主体性	1	自らへの自信	2

取組のねらい

『自主的にやりきれるボランティア活動』

- ・生徒会執行部を中心として、日々校内で行える短時間ボランティア活動を実行する。
- ・グループを作り曜日ごと、または日にちを指定して活動する。
- ・ボランティア活動を通して、他者から評価され自己肯定感を育てる。
- ・ボランティア活動をやりきることで、充実感・達成感を得る。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『日々短時間で行える』
----------	------------------------

- ・朝掃除ボランティア
- ・挨拶ボランティア
- ・旗揚げボランティア
- ・フラワーボランティア
- ・献血ボランティア



- ・各学期はじめに、全校生徒に各ボランティア活動募集をする。
- ・献血ボランティアについては、日本赤十字社と連携し4月、8月12月の年3回実施。町内スーパー駐車場にて1日行う。
- ・献血ボランティアは、報道機関に取材依頼し、新聞・CATV等で活動報道をしていただく。
- ・学期ごとにボランティア活動を選ぶことができるので、様々な経験ができる。
- ・学校外でのボランティア活動の案内も行い、活動・参加の視野を広げる。

取組の成果と課題

取組の成果『参加者が認められ評価されることで次につながる』

- ・3学期実施の生活アンケートから
 - ①「何かのボランティア活動に参加した。又はこれから参加する。」肯定的評価78%
 - ②「誰かのために役立っていると感じるときがある。又は、将来、誰かの役に立つことができると思う。」肯定的評価89%
 - ③「自分には良いところがある。」肯定的評価85%
 - ④「努力すれば、たいいていのことはできると思う。」肯定的評価93%
- ・献血ボランティアは、報道機関等で取り上げられることにより、校外の方々に活動が知られ評価されることが増え、自己肯定感・充実感・達成感につながる。

取組の課題

- ・活動内容、様子の校内掲示等も積極的に行い、評価の場面を増やす。
- ・ボランティア活動をすることが当たり前の感覚になっている生徒が多数いるが、まったく参加しない生徒も固定化されている。
- ・参加申し込みだけになり継続することができない生徒も出始めている。